

『脊髄不全損傷者の歩行自立に影響をおよぼす因子の検討 —回復期リハビリテーション病棟における後方視的調査—』

【目的】回復期リハビリテーション病棟へ入院した時の身体状況から、脊髄が部分的に損傷され損傷部位より下位でも何らかの感覚や自分の意志によって行われる運動がある方（以下、脊髄不全損傷患者さん）の歩行自立に影響をおよぼす因子を検討します。

【期間】研究許可日～2020 年 6 月 30 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2012 年 1 月から 2019 年 12 月までに新 1 階病棟を退院された脊髄不全損傷患者さん。
（受傷後 2 ヶ月以上経過して当院に入院した方、18 歳未満の方、運動機能に影響を及ぼす特筆すべき既往を有する方は除きます。）

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：受傷年齢・性別・診断名・受傷日・在院日数・脊髄損傷の評価尺度・立位保持・移乗動作・日常生活動作の指標・脊髄障害自立度評価法など

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 リハビリテーション部 ・ 理学療法士

研究責任者 島袋 尚紀